

平成 26 年 7 月 14 日

平成 26 年度デトネーション研究会幹事
埼玉大学 小原 哲郎、前田 慎市

『第 9 回 デトネーション研究会 若手夏の学校』ご案内

デトネーション研究会では、今年も、下記のように「若手夏の学校」を企画しております。この企画は、デトネーション研究に携わる学生諸君の研究レベル向上および大学の枠を超えた横のつながりの構築を目的としています。「若手夏の学校」は今年で 9 回目となります。前回まで 4 年連続で琵琶湖畔で開催していましたが、今年会場を変えて京都での開催となります。皆様、日々の研究でお忙しいことと存じますが、奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。また、例年通り、OB・OG の方々の参加も歓迎いたします。お誘い合わせの上、是非いらして下さい。

記

- 開催日時 平成 26 年 9 月 5 日（金）13：00 ～ 9 月 7 日（日）12：00
- 開催場所 関西セミナーハウス（修学院きらら山荘）：
京都府京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23（TEL：075-711-2115）
URL: <http://www.kansai-seminarhouse.com/>

3. 参加費

	2泊参加		1泊参加	
	テキスト込	テキスト無し	テキスト込	テキスト無し
学生	¥27,200-	¥21,800-	¥16,900-	¥11,500-
教員・一般	¥30,600-	¥25,200-	¥18,600-	¥13,200-

参加費内訳

	参加登録費	テキスト代	宿泊費（2泊分）	懇親会費（2泊分）
学生	¥1,200-	¥5,400-	¥18,600-	¥2,000-
教員・一般	¥1,200-	¥5,400-	¥22,000-	¥2,000-

※テキストは「デトネーションの熱流体力学 1 基礎編、2 関連事項編 理工図書」です。

既にお持ちの方は、忘れずにご持参下さい。

※テキストのみ購入希望の方には 5,400 円 (+送料) でお分けいたします。参加申込書にご記入下さい。

- 内容 別紙（第 9 回デトネーション研究会「若手夏の学校」スケジュール）の通り。
*講師の先生方の都合により、変更になる可能性もございます。
- 申込方法 参加申込書（Excel ファイル）に必要事項を記入し、電子メールに添付して、埼玉大学・前田（shinichi_maeda@mech.saitama-u.ac.jp）までお送り下さい。なお、お手数ですが所属機関ごとにまとめてお申込み下さい。折り返し、支払方法をお知らせいたします。
- 申込期限 平成 26 年 8 月 4 日（月）17：00

7. 若手有志による講義の募集

前回より始まった試みとして、より積極的な学生諸君の参加を期待して、2件の若手（学生あるいはポスドク研究者）有志による講義を計画しています。内容は、

1 件目：J.H.S. Lee and M.I. Radulescu, “On the Hydrodynamic Thickness of Cellular Detonations”, *Combustion, Explosion, and Shock Waves*, Vol. 41, No. 6, pp. 745-765, 2005.

2 件目：T. Endo, J. Kasahara, A. Matsuo, K. Inaba, S. Sato and T. Fujiwara, “Pressure History at the Thrust Wall of a Simplified Pulse Detonation Engine”, *AIAA Journal*, Vol. 42, No. 9, pp. 1921-1930, 2004.

をベースにした講義です。時間は各 90 分（講義 75 分+質疑応答 15 分）です。講義の準備に関しては、教員がサポートします。講義をしてくれた人（あるいはグループ）には謝金を出します。また、良い質問をした人には「ナイスクエスト賞」を差し上げます。講義希望は、先着順で受け付けます。埼玉大学・前田 (shinichi_maeda@mech.saitama-u.ac.jp) まで、電子メールで直接申し込んでください。大変良い勉強になりますので、ぜひ前向きにご検討ください。

公共の交通機関で来られる方へ

- JR 京都駅から会場までは、以下のルートがあります。
「京都駅」⇒ (JR 奈良線) ⇒ 「東福寺駅」⇒ (京阪電鉄) ⇒ 「出町柳駅」
⇒ (叡山電鉄) ⇒ 「修学院駅」(所要時間：約 40 分)
修学院駅から会場まで徒歩約 15 分から 20 分。
* 修学院駅から会場までは長い上り坂になっています(かなりしんどいですが、できなくは無いです)。
- 希望者には会場までの交通手段（マイクロバスまたはタクシー）を手配する予定ですが、参加費とは別に実費を申し受けることとなりますので、ご了承下さい。希望人数を把握したいので、申込書の「交通手段の手配要否」の欄にご記入下さい。詳細が決まり次第連絡差し上げます。

自家用車で来られる方へ

駐車台数を把握するため、所属機関ごとに自家用車の台数をご連絡ください。また会場周辺は住宅街になっており、道幅が狭い（車同士がギリギリすれ違える程度）ですので、十分に気をつけてご来場下さい。

以上